

北九州ソレイユホールにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

公演主催者は、施設の特性や公演の規模や態様を十分に踏まえ、施設内及びその周辺地域において、当該施設の管理者、公演主催者及び運営に従事する者（以下「従事者」という。）、公演を鑑賞等するために施設に来場する者（以下「来場者」という。）、出演者及び公演の開催に携わるスタッフ（公演主催者を除く。以下「公演関係者」という。）への新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、必要となる負担を考慮に入れながらも最大限の対策をお願いします。

① 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）

② 密集場所（多くの人々が密集している）

③ 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

という3つの条件（いわゆる「三つの密」）のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、こうした環境の発生を極力防止するなど、すべての主体が相互に感染回避に徹底して取り組むことが重要です。

さらに、施設においては、強制的な機械換気が可能なこと、また、公演中は、来場者は一方向を向き対面による会話等が原則想定されないこと等も踏まえて、以下の具体的な対策を講じていただくようお願いします。

<公演前の対策>

（1）入場制限

・ 公演主催者は、密集を回避する方策や密接な状況を発生させない工夫をお願いします。

・ 公演入場者数については、9月19日から11月30日までの間次の通りとなります。

① 感染リスクの少ないイベント（クラシック音楽コンサート等）については100%以内、その他のイベント（ロックコンサート、スポーツイベント等）については50%以内（※）とします。

（※）異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内に限る）内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

・ 特に高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応をお願いします。

(2) 来場者との関係

- 来場者の氏名及び緊急連絡先の把握をお願いします。また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。
- 来場前の検温の実施の要請のほか、来場を控えてもらうケースを事前に周知をお願いします。

(3) 公演関係者（出演者及びその関係者）との関係

- 氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成してください。
また、公演関係者に対して、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。

(4) 福岡県との事前相談

- 全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が1000人を超えるようなイベントについては、その開催要件等について、県まで事前相談をお願いします。

《福岡県感染症ポータルページより》

【相談方法】

- (1) 「全国的又は大規模イベント開催に伴う事前相談票」にご入力のうえ、会場図面（収容率や人との距離が十分に確保できていることが分かるもの）と併せて、以下提出先へ電子メールでご提出ください。電子メールでの提出が困難な場合は、FAXにてご提出ください。なお、FAXの場合は、事前に福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局まん延防止班（TEL：092-643-3342）までご連絡をお願いいたします。

※お早めに（開催1か月前までを目途に）ご提出をお願いします。

全国的又は大規模イベント開催に伴う事前相談票 [Excelファイル/50KB]
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/120364.xlsx>

- (2) まん延防止班にて相談票の内容を確認後、開催についての回答をメールにて差上げます。

※必要に応じて、追加で聞き取り等をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

【事前相談票提出先】

福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局 まん延防止班

Mail: corona-ma001@pref.fukuoka.lg.jp FAX: 092-643-3697

<公演当日の対策>

(1) 周知・広報

感染予防のため、施設管理者と協力の上、来場者に対し以下について周知をお願いします。

- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底
- 社会的距離の確保の徹底
- 下記の症状に該当する場合、来場を控えること。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

(2) 来場者の入場時の対応

- 入場時、検温を実施してください。
- もぎり等来場者と接触機会の多い従事者は、マスク、フェイスシールドの着用をお願いします。
- 来場者は、マスクの着用を行ってください。着用しない方は入場できません。
- 以下の場合には、入場しないようにしてください。
 - ①発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合
 - ②咳・咽頭痛などの症状がある場合
 - ③過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合等
- 事前に余裕を持った入場時間を設定し、入場、開場時間の前倒し等の工夫をお願いします。
- 入待ちは控えるようお願いいたします。
- パンフレット・チラシ・アンケート等の手渡しは極力避けるようお願いいたします。
- プレゼント、差し入れ等は控えるよう呼び掛けてください。

(3) 公演会場内の感染防止策

- 接触感染や飛沫感染を防止するため、消毒や換気の徹底、マスク着用と会話抑制等、複合的な予防措置をお願いします。
- 座席は原則として指定席にするなどして、適切に感染予防措置がとれる席配置とするようお願いいたします。指定席がむつかしい場合は、従事者により密接にならないよう客席案内を実施してください。（前後左右を空けた席配置、又は距離を置くことと同等の効果をもつ措置等）
- 座席の最前列席は舞台上から十分な距離を取り、また、感染予防に対応した座席での対策をお願いします。

- ・ 公演中の来場者同士の接触は控えていただき、座席のひじ掛けの使用についても、左右いずれかに統一するようお願いしてください。
- ・ 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする 等）は行わないようにしてください。
- ・ 場内における会話は控えていただくようお願いしてください。
- ・ 事前に密集状況が発生しないように余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなど混雑にならないようにお願いします。

(4) 公演関係者の感染防止策

- ・ 公演の運営に必要な最小限度の人数としてください。
- ・ 各自検温を行うこととし、37.5℃以上の発熱がある場合には会場内に入れません。さらに、発熱の他に、下記の症状に該当する場合も、同様となります。
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ・ 公演主催者は、従事者の緊急連絡先や勤務状況の把握をお願いします。
- ・ 出演者間では、十分な間隔をとるようにしてください。また、公演前後の手指消毒の徹底をお願いします。
- ・ 楽屋等では使い捨ての紙皿やコップを使用するようにしてください。
- ・ 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにお願いします。
- ・ 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間を設定し、密集とならないようにお願いします。
- ・ その他、稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置をお願いします。
- ・ 公演関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供をお願いします。

(5) 感染が疑われる者が発生した場合の対応策

- ・ 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行ってください。
- ・ 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
- ・ 速やかに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。

(6) 物品販売について

- ・ 現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインの販売や、キャッシュレス決済を推奨します。
- ・ パンフレット等の物販を行う場合、最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を開けて整列していただくようにしてください。

- 物販に関わる従業員は、マスクの着用と手指消毒の徹底をお願いします。
- 対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテン、フェイスシールド等により購買者との間の遮蔽をお願いします。
- 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。

(7) 来場者の退場時の対応

- 事前に余裕を持った退場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での退場等の工夫をお願いします。
- 出待ちや面会等は控えるようお願いします。

<個人情報取り扱い>

- 個人情報保護の観点から、名簿の取扱いにつきましては十分な注意をお願いします。